

## 平成25年度一般社団法人福島県薬剤師会事業計画

平成25年度の各種事業は、一般社団法人としての組織体制を構築しながら、本計画に基づき、次のとおり実施するものとする。

### 1 薬剤師倫理の遵守と励行及び職能資質の研鑽と向上

薬剤師は、医療の担い手の一員として、人権のなかで最も基本的な生命、健康の保持増進に寄与する責務を担っており、薬剤師倫理の遵守と職能の発揮は、最も重要な課題である。

このような観点から、薬剤師倫理の徹底を図りながら、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、国民の薬剤師に対する一層の信頼を得るよう努めていく。

### 2 薬剤師の生涯教育の推進

薬剤師は医療需要と社会的要請に応え、薬剤師として必要な責務を全うするために、生涯にわたって研修等による自己研鑽に努める必要がある。そのため、本会では各種研修会の開催を通して、本会会員の生涯教育の推進を図るとともに、各種研修認定制度に関する情報提供を積極的に取り組む。

(1) 日本薬剤師会生涯学習支援システム「JPALS」の利用促進に向けた取り組み

(2) 日本薬剤師研修センター「研修認定薬剤師」制度に取り組む本会会員に対する情報提供及び申請手続きに関する適切な支援

(3) 研修会の開催

会員の資質向上と各種研修会を効果的、効率的に図る観点から、年間を通した研修会を、次のとおり計画的に開催するとともに、県民へ薬の適正使用等の啓発活動に努める。

- ・ ドーピング防止活動に関する研修会  
平成25年10月13日（日）（コラッセふくしま）
- ・ 第19回福島県薬剤師研究発表会  
平成25年10月中旬
- ・ 一般用医薬品の販売に関する研修会（仮称）  
平成25年11月4日（月）（ビッグパレットふくしま）
- ・ 福島県薬剤師医療安全対策等研修会  
平成25年11月23日（祝・土）（奥羽大学予定）
- ・ 高度管理医療機器等の販売等に係る継続研修  
平成25年12月上旬（コラッセふくしま）
- ・ 平成25年度薬事研修会  
平成26年3月下旬（ビッグパレットふくしま）

### 3 東日本大震災からの復興支援

本県では平成23年3月11日に発生した東日本大震災において、地震、大津波に加え、東京電力福島第一原子力発電所の事故による住民避難という、真に未曾有の災害に直面したところである。

本会は、引き続きその復興支援と今後の災害対策について次のとおり実施する。

#### (1) 復興支援

- ・ 福島県や関係機関との緊密な連携による被災県民等に対する支援活動等の実施
- ・ 双葉郡を中心に避難を余儀なくされている会員等に対する適切な支援
- ・ 不足している薬剤師を確保するために国及び福島県など関係機関への働きかけ
- ・ 福島県をはじめ、市町村が推進する災害復興計画への参画
- ・ 放射線ファーマシスト養成に向けた取り組み

#### (2) 災害対策の推進

- ・ 本会及び地域薬剤師会における災害時における薬剤師班の編成
- ・ 災害派遣用装備品の備蓄
- ・ 本会の組織体制の整備を図るとともに、災害対策手帳等の作成に向けた取り組み
- ・ 福島県が設置する福島県災害医療対策協議会及び福島県災害時医薬品等備蓄・供給検討委員会への参画

### 4 医薬分業の推進と質的強化

本県内の院外処方せん発行が年々増加しており、平成24年2月分の推計値によれば本県の分業率は73.7%であり前年と比較すると約3.5%上昇しており、全国平均の67.6%を上回っている。

また、「かかりつけ薬局」「かかりつけ薬剤師」の推進に努めるとともに、医学薬学等の進歩に伴った薬剤師職能の質的向上を図る。

#### (1) 「かかりつけ薬局」「かかりつけ薬剤師」の推進と「お薬手帳」の普及

#### (2) 在宅医療の推進と人材育成

- ・ 在宅療養推進アクションプランの実行
- ・ 福島県及び医療関係団体との連携

#### (3) 多職種連携の強化

- ・ 人材育成事業への参画

#### (4) 医療機関・県民への広報活動

本会及び会員等が行う公益的な活動（「薬の適正使用啓発活動」、「お薬手帳の啓発活動」及び「休日・夜間対応」など）の広報に取り組む。

#### (5) 第6次福島県医療計画への参画

#### (6) 後発医薬品の使用促進

### 5 医療安全対策の推進

本県では医薬分業率の進展に加え、後発医薬品の使用促進等により、薬局及び薬剤師が取り扱う医薬品目数は年々増加している。

我々薬剤師は、医薬品の安定供給を確保するとともに、県民の健康を保持するため、医療安全対策に全力で取り組まなければならない。

このことから、本会では、「薬局における安全管理体制に関する行動計画2007」の見直しを図りながら、調剤事故及び調剤過誤の防止に努める。

#### (1) 「薬局における安全管理指針」の整備及び見直しに向けた取り組み

#### (2) 「薬局における安全管理のための職員研修」の実施に向けた取り組み

#### (3) 「薬局内での管理者への調剤事故報告の徹底」の確実な実施に向けた取り組み

#### (4) 「医薬品の安全使用のための業務手順書」の整備及び定期的な見直しに向けた取り組み

#### (5) 「5つの挑戦」、「5つの約束」、「5つの行動」の遵守に向けた取り組み

- (6) 「県内におけるヒヤリ・ハット事例」に基づく未然防止及び再発防止に向けた取り組み
- (7) 「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業」(財団法人日本医療機能評価機構：厚生労働省補助事業)への参加協力に向けた取り組み

## 6 医療連携体制への参画

薬局は地域における医療連携体制のなかで、調剤を中心とした医薬品や医療・衛生材料等の提供拠点としての役割を担っており、薬局及び薬剤師は、本県の医療計画及び地域医療再生計画に基づく医療連携体制に積極的に参画することが求められていることから、次の取り組みを行う。

### (1) 休日・夜間における応需体制への取り組み

地域薬剤師会が対応している初期救急医療(休日夜間)について、派遣要員薬剤師の養成・研修等事業に支援(助成等)を行う。

### (2) 在宅医療の推進

- ・ 「体調チェックフローチャート」の活用
- ・ 「在宅服薬支援マニュアル」の伝達と実践に向けた取り組み

### (3) 地域医療連携と在宅緩和ケアの推進

- ・ 「お薬手帳」による患者情報の共有と地域医療の連携
- ・ 薬の重複投薬、相互作用及び残薬の確認の徹底
- ・ 「在宅医療対応薬局リスト」の活用と更新に向けた取り組み
- ・ 医療ICT(Information and Communication Technology)化を利用した患者情報共有化に関する対応
- ・ 在宅医療実施に伴う多職種連携に向けた取り組み
- ・ がん診療連携体制への参画
- ・ 在宅の医薬品及び医療材料供給支援体制の整備と福島県との連携

## 7 地域保健活動等への取り組み

薬剤師の専門性や薬局の機能を十分に活かし、地域住民が健康な生活を送るための情報の発信また、健康・介護・医療の相談に適切に対応し、介護保険制度の適正化及び介護予防に貢献出来るよう、次の事業に取り組む。

### (1) 「健康日本21」など健康増進法に関連する事業への参画

### (2) 学校薬剤師活動への支援

### (3) 健康介護まちかど相談薬局事業の県民に向けた広報活動

### (4) 新型インフルエンザ対策の推進

- ・ 本会が設置した新型インフルエンザ対策本部の機動的運営と対応
- ・ 「薬局・薬剤師のための高病原性新型インフルエンザ対応マニュアル」の周知徹底

### (5) リレー・フォー・ライフ2013 in 福島への参画

## 8 特色ある県民への広報活動等

「顔の見える薬剤師」を目指し、福島県及び関係機関とともに献血推進活動への支援を行うとともに、県民が適正に一般用医薬品及び医薬品並びに医療機器を正しく選択し、使用することができるように情報提供や広報活動等を積極的に推進する。

### (1) 福島県献血推進協力会への助成

## (2) 献血事業の実施

- ・ 福島県献血推進事業への協力
- ・ 地域薬剤師会が実施する献血事業への助成
- ・ 若年層への献血啓蒙活動

## (3) 薬物乱用防止に向けた取り組み

- ・ 新たな視点から展開される「ダメ。ゼッタイ。」福島県普及運動実行委員会への参加と連携活動

## (4) 性感染症の予防防止キャンペーン等への協力

## (5) 福島県及び市町村と連携を図りながら、県民向け「薬と健康公開講座」の開催

## (6) 医薬品の適正使用等に関する啓発活動

- ・ 「薬と健康の週間」の広報
- ・ 福島県くすりの週間実行委員会への参加
- ・ 医薬品副作用被害救済制度の周知
- ・ 啓発資材の作成・配布

## (7) ドーピング防止活動及びスポーツファーマシスト養成に向けた取り組み

- ・ 福島県体育協会等が参加する大型大会に参画する。

## (8) 放射線ファーマシスト養成に向けた取り組み（再掲）

## (9) 福島県及び市町村と連携を図りながら、県民向け「薬と健康」関連講座への講師の派遣

## (10) 特色ある地域貢献活動を展開する地域薬剤師会等への支援

## (11) テレビスポットを活用したお薬手帳啓発事業への取り組み

## (12) 本会ホームページの充実

## 9 薬学実務実習への適切な対応

薬学実務実習に際し、各薬学系大学、病薬、医師会、行政、東北各県や隣接県薬剤師会等と積極的に連携を図りながら、着実且つ適切な受入れを継続して行う。

### (1) 病院・薬局実務実習東北地区調整機構及び各薬学系大学等との連携

### (2) 指導薬剤師の育成

- ・ 認定実務実習指導薬剤師レベルアップに向けた取り組み

### (3) 実務実習受入れ薬局の体制整備（県レベル・地域薬剤師会レベル）

### (4) 指導薬剤師の相談窓口の設置

### (5) 東北地区調整機構の事務局機能を担当

## 10 各種法令等の改正に伴う情報提供と医療保険制度への対応

医療法、薬事法、薬剤師法及び健康保険法、介護保険法等について、会員が円滑かつ適正に対応できるように、日本薬剤師会及び行政機関等から知り得た情報を、会員へ適時・適切な提供に努める。

### (1) 一般用医薬品の販売制度への対応・薬事法への対応

- ・ 医薬品のリスク分類に応じた情報提供・相談応需の体制整備

### (2) 適切な医療保険制度の理解に向けた取り組み

- ・ 保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則の遵守に向けた情報提供に努める。
- ・ 東北厚生局及び福島県等が実施する個別指導等への立会要請に対応する。

### (3) 国、県等の行政機関との連携と対応

## 1.1 薬剤師確保事業

県内の薬剤師不足を解消するために次の事業を行う。

- (1) 薬剤師無料職業紹介所の利用促進
- (2) 薬科大学（薬学部）主催の就職説明会への参加

## 1.2 薬事情報センターの運営

都道府県薬剤師会薬事情報センター等との情報交換や、薬事全般にわたる情報の収集・蓄積・伝達・情報資料の整備を効率的かつ迅速に行い、会員への利便性を考慮しながら、情報センターとして有効かつ健全な運営を図る。

また、県民からの医薬品等の質問、相談に対応するとともに、県民への薬の適正使用及び健康増進に向けた情報の提供を行う。

- (1) 薬事全般にわたる情報の収集・蓄積・伝達・情報資料の整備
- (2) 県民等からのくすりの相談への対応
- (3) 中央薬事情報センターへの協力
  - ・ 文献書誌情報検索システム（Bunsaku）への参加

## 1.3 医薬品試験検査センターの運営

別紙1「平成25年度 医薬品試験検査センター事業計画」参照

## 1.4 ほうらい薬局の運営

別紙2「平成25年度 ほうらい薬局事業計画」参照

## 1.5 各種委員会・各部会の活動推進

各委員会の活発的な活動に努めてきたが今後も、より一層充実した活動に努める。また、各部会活動に対して助成措置を図る。

## 1.6 本会組織の強化

会員の増強を図る観点から、地域薬剤師会及び職域部会の協力を得ながら、会員の加入促進に一層努める。

また、日本薬剤師会共済、日本薬剤師会年金、日本薬剤師会賠償責任保険、日本薬剤師会職能型国民年金、日本薬剤師会個人情報漏洩保険、24時間安心保障保険（損保ジャパン）等への加入促進を図る。

- (1) 会員の加入促進
  - ・ 県内にある薬科大学への広報活動
- (2) 会員証の作成及び配布
- (3) 会員区分の適正な管理
- (4) 会員福祉事業等への加入促進
- (5) 本会会館の計画的な整備、修繕と効果的な利用
- (6) 広報誌の発行（県薬ニュース（年12回）、県薬会報（年1回））
- (7) 会員徽章の配布（新規入会者）

## 1.7 次代を担う薬剤師の人材の育成

- (1) 市民講座等における薬剤師講師データベースの広報と活用
- (2) 主催する事業や関係団体との共催事業などへの積極的参加の奨励
- (3) 新任薬剤師を対象とした研修

## 平成 25 年度医薬品試験検査センター事業計画

平成 25 年度は、次の計画に基づき実施するものとする。

## 1 医薬品試験検査センターの運営充実

## (1) 医薬品試験検査業務の充実

医薬品計画的試験検査等の各種医薬品試験検査を実施し、流通医薬品の品質確保、製剤学的同等性の確認、服薬指導の根拠となるデータの収集、調剤技術向上のための試験データ収集を行い、薬局現場業務において有用な試験結果を提供することにより、医薬品試験の重要性と必要性の周知徹底と理解を求める。

- ① 医薬品計画的試験検査
- ② 日本薬剤師会「溶出試験」
- ③ 日本薬剤師会「医薬品全国統一試験」

## (2) 環境衛生試験業務の充実

各種一般依頼検査の実施に努め、また、学校薬剤師会及び担当学校薬剤師に協力を得て、連携を図り各種学校環境衛生に寄与する。

- ① プール水、飲料水等の一般水質試験検査
- ② 工場排水、河川水等の水質試験検査
- ③ 温泉分析検査（小分析・中分析・ラドンの定量・可燃性天然ガスの測定）
- ④ 放射能測定（食品等中のヨウ素 131、セシウム 134、セシウム 137 の測定・環境放射能の測定）
- ⑤ その他各種試験検査

## 2 公益事業の実施

## (1) 水質調査等の実施

環境対策・試験検査委員会と合同で、薬剤師の環境問題への取り組みとして公益事業を実施する。

- ① 猪苗代湖水質調査事業  
福島県及び関係団体で構成される「清らかな湖、美しい猪苗代湖の水環境研究協議会」事業への参画
- ② ふくしま環境活動支援ネットワーク事業  
福島県が、県民・事業者・民間団体等による環境保全の取り組みを総合的に支援するために立ち上げた、「ふくしま環境活動支援ネットワーク」事業への参画
- ③ 県民等からの放射線等に関する問い合わせへの適切な対応

## (2) 検査技術向上のための精度管理事業及び研修会等への参加

試験検査技術の高度化、複雑化に対応するため、日本薬剤師会及び福島県等の主催する精度管理事業及び研修会等に積極的に参加し、分析機器の適正な活用と検査技術の向上を図る。

また、放射能測定技術及び知識の向上に務める。

なお、北海道・東北ブロック試験センター連絡協議会の担当幹事県となったため、協議会の事務局を担当する。

- ① 福島県試験検査精度管理事業
- ② 厚生労働省登録試験検査機関における外部精度管理事業

③ 北海道・東北ブロック試験センター連絡協議会

平成25年11月8日（金） 於 福島市「ホテル辰巳屋」

④ その他研修会等（日本薬剤師会主催及びその他）

(3) 福島市「ふくしま市エコネット」主催の各種イベント等への参加

福島市が環境保全活動を推進することを目的として、平成13年に発足させた「ふくしま市エコネット」が主催する各種イベント等に積極的に参加することにより、福島市の環境保全に寄与する。

## 平成25年度ほうらい薬局事業計画

平成25年度は、次の計画に基づき実施するものとする。

## 1 休日・夜間のお薬相談や調剤等の受け入れの実施

近隣地域の「かかりつけ薬局」として、休日・夜間のお薬相談や調剤等の受け入れを継続し、会営薬局として県民医療の確保に努める。

また、福島市および福島薬剤師会に対応している福島市保健福祉センターの夜間急病診療所での調剤業務へ協力する。

## 2 薬剤師および薬学生研修の受け入れ体制の充実

薬剤師及び薬学生の研修並びに実務実習の受け入れ施設として、指導能力及び指導技術向上のため、積極的に研修会等に参加するとともに設備環境の整備・充実に努める。

## 3 薬事情報センターのサポート機能の充実

一般からの電話による医薬品等に関する問い合わせへの対応を中心に、薬事情報センターの業務をサポートする。

また、日本薬剤師会中央薬事情報センターでの事業については、引き続き、「文献検索システム (Bunsaku) 事業」へ参画する。

## 4 在宅医療及びセルフメディケーションに係わる業務体制作り

蓬萊地域を中心に、公衆衛生向上の面から在宅医療を推進するため、近隣の医療機関との連携を図る。

また、利用者のニーズに対応した環境整備や適正使用のための情報提供を行うための業務体制作りに取り組み、セルフメディケーションに貢献する。

## 5 安全対策の強化

全国のヒヤリ・ハット事例収集分析事業などの事例をもとに薬局での未然防止のための対策を講じる。

また、調剤上の疑義照会を積極的に行い、調剤過誤防止に役立てる。

## 6 地域の「かかりつけ薬局」を目指した情報発信

蓬萊地区で開催される医療・介護・福祉等の連携事業「ほうらい地区福祉まつり」に参加し、地域住民と密接に係わりながら、薬と健康のサポートを行う。

医療や健康についての情報の発信源として、地域住民との交流の場を設けるため、相談会の計画を検討する。

## 7 学校薬剤師としての児童・生徒の健康で安全な学校生活のサポートを行う

児童・生徒の健康安全のため、学校職員と連携を図りながら、医薬品管理や保健教育、環境衛生等に指導・助言を行う。



8 災害時における医薬品等の供給

災害等を想定し、緊急時に必要な医薬品等のリストの作成及び医薬品卸等の配送体制の整備を図る。

9 会営薬局運営委員会の開催

定期的に会営薬局運営委員会を開催し、適切な薬局運営を行う。

また、蓬萊地区を中心として地域医療連携を図り、地域住民の健康を担う機関の確立を目指して検討を行う。